

新体育館が検討されている
中央スポーツ公園南

台との位置付けである。

問 比較検討のためには、人口分布・防災避難施設として人口当たりの公共面積が極端に低い広丘の現実等を踏まえ異なる多様な地域を候補地として挙げるべきだ。(古厩)

答 あくまで検討材料であり、人口重心を凶化したもので、塩尻駅・広丘駅ありきではなく、偏った選定ではない。指摘の点は今後の検討で生かす。

問 候補地として、市長は具
体名を挙げています。(古厩)

答 市政の責任者として従来からの思いを述べただけで、私は独裁はしない。中スボ南案は、駐車場用地の確保が難点。また、広い郷原案では、民有地で2ha単価2万円とすれば4億円の用地費が問題。半値でいいなら歓迎だが。

問 近く売却予定の広丘駅近

くの市有地は、狭いが資産価値では匹敵する。利便性等を無視して、市所有地への建設に、拘るべきでない。(古厩)

答 諸々の議論のうえに方向付けをいただくのが議会だ。

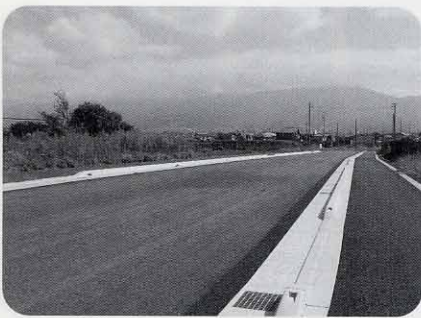
問 建設費用の財政的な裏付けはどうか。(古厩)

答 まちづくり交付金10億円・合併特例債14・3億円を見込み一般財源は7千5百万円である。

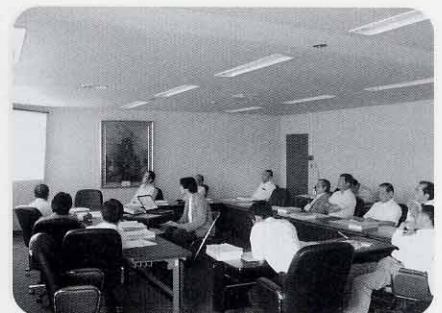
◆体育館建設議論はこれから

問 新体育館に必要な三つの機能を実現するためにはどのような施設をつくるかということとこれから議論するものと考えているがどうか。(柴田)

答 これまでも答弁しているが、どのような規模がよいのか、いま必要なかという点については、9月議会、12月議会での真剣な議論や飛び



新体育館が検討されている
広丘郷原地籍



9月22日の市街地活性化特別委員会で
詳細な設計等について説明を受けた

込み市民会議での議論を重ねて方向付けをしていく。大いに議論したい。

公共施設の あり方



◆交流センター入札の行方
問 入札中止の原因と次回の入札日程は。(石井)

答 48企業中、指名停止が31社もあったこと、建設資材の高騰で長期にわたる工事が敬遠されていること等が要因と考えられる。今後は、資格条件等を見直し、11月をリミットと考え入札を実施する。

問 建設費の見直しを考えているのか。(石井)

答 保留床価格を変更しない範囲で、国の補助金の精査や

再開発組合の経費削減等で設計額の再積算をしている。

◆平出遺跡公園整備計画

問 焼失復元住居の早期再建と周辺設備の充実による誘客、市内産業との連携についての考えは。(中原巳)

答 防災設備の設置などの課題を含め、21年度の再建を目指す。体験や物販施設整備、市民公園としての環境整備つくりにも努める考えである。

◆両小野国保病院の今後

問 両小野国保病院は国の医療切捨て政策の影響も大きい住民の期待にこたえる医師職員の努力の上での赤字については、市も市民の健康を守る立場で支えていく姿勢が必要だと思いがどうか。(鈴木)

答 両小野国保病院経営研究委員会の提言に沿ってすすみたい。



今後も環境整備が行われる平出遺跡公園